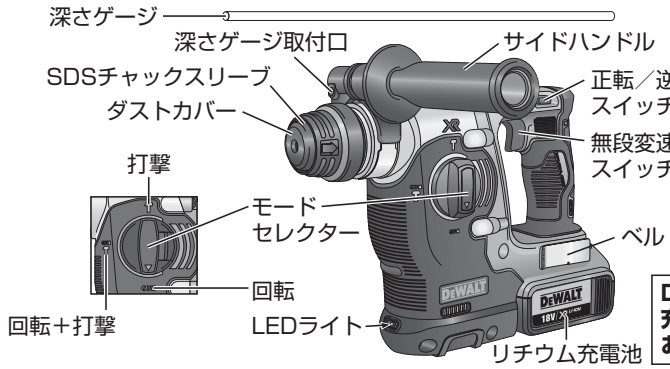
デウォルト電動工具
取扱説明書

DCH273M2
18V SDSブラシレスハンマードリル

DCH273N
18V SDSブラシレスハンマードリル（本体のみ）

製品の各部名称と仕様



DCH273Nには充電池は付属しておりません

こだわりのデウォルト... 強靭な作業場を提供します。

デウォルトブランドの高品質・耐久性は現在、世界各国で圧倒的な支持を獲得しています。デウォルト電動工具は1923年アメリカ合衆国、レイモンド・デウォルトによって最初の卓上スライド丸ノコが開発されました。以来、石工、木工、金工用工具を問わず多数の工具を提供し、その耐久性はあらゆる作業場の要望にお応えし、満足していただいています。すべての工具はハイテクを駆使した弊社製造技術のもとに作られ、また出荷前の品質管理には万全を期しています。強靭な耐久性、作業の確実性、ハイパワーを作業場でお楽しみください。

仕　様

品　番	DCH273
チャック能力	SDSプラス用
電圧（V）	DC18V
打撃力（J）	2.1J
回転数（回／分）	0-1,100min^{-1}
無負荷打撃数（打撃／分）	0-4,600bpm
能力（mm）	鉄工：13mm 木工：26mm コンクリート：24mm
質量（電池含まず）	2.5kg
振動係数　コンクリート	6.6m/s^2

バッテリー品番 DCB182	18V リチウム 充電池
電圧	18V
充電池	リチウムイオン
電池容量	4.0Ah
質量	0.61kg

振動係数はEN60745に示されているテスト方法に準じて行っております。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 1　15.1.27 10:54:37 AM

目　次

製品の各部名称と仕様 …… 1
安全上のご注意 …… 2
警告（電動工具を安全にお使いいただくために） …… 2
注意（電動工具を安全にお使いいただくために） …… 3
警告（ハンマドリルに関する安全上の追加事項） …… 3
警告（充電池と充電器に関する安全上の事項） …… 4
充電の手順 …… 5
製品の特色と使用方法 …… 5
メンテナンス …… 8
アフターサービスについて …… 8
充電池と環境 …… 8
アクセサリー …… 8

安全上のご注意

⚠ 警告　正しく安全にお使いいただく為に、ご使用の前に必ずこの取扱説明書にある指示事項を全てお読みください。

お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

電動工具をお取扱いの際には、火災や感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告　この表示の欄は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意　この表示の欄は、「障害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。

⚠　このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

⚠ 警告　電動工具を安全にお使いいただくために。

この取扱説明書を大切に保管し、必要な時に備えてください。

◆作業場の環境について

- **明るく清潔で、乾いた場所で作業してください。**散らかった作業場や作業台での作業は事故の原因になります。また、雨中や湿った場所など本体内部に水の入りやすいところでは使用しないでください。湿気はモーターなどの電気絶縁を低下させ、感電事故につながります。
- **危険物のまわりでは決して作業しないでください。**通常、電動工具は使用中またはスイッチのオン・オフ時にスパーク（火花）が発生しますので、引火性の液体やガスのある場所の近くで使用しないでください。
- **お子様を近づけないでください。**お子様や外部の方、訪問者が電動工具に触れないようにしてください。作業場所は作業者以外、立入禁止にしてください。

◆個人的な警告事項

- **不用意なスイッチ・オンは決してしないでください。充電池を本体に差し込む前に必ずスイッチ・オフの状態であることを確認してください。**持ち運ぶ間はスイッチに手を触れないようにしましょう。スイッチが入ると不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。
- **保護メガネや他の保護器具を必ず使用してください。**飛散する切り粉から目を守るために保護メガネを 必ず着用してください。ホコリが大量に出る作業では健康のためにも防じんマスクを併用してください。作業環境によっては耳栓、ヘルメット、手袋、安全靴 の使用も必要です。

◆工具の使用と手入れ

- **加工材はしっかりと固定して作業してください。**クランプや万力などで加工材を固定してください。手で保持するよりも安全ですし、両手で電動工具を使用することは安全につながります。
- **スイッチが入らない、あるいは切れない場合は、ご使用を直ちに中止してください。**スイッチの故障した電動工具は、不意に刃物類が作動し、重大な事故を引き起こす恐れがあります。所定のサービスセンターで修理してください。
- **電動工具の調節や刃物、ビット類の交換の際には、必ず充電池を本体から外してください。また、必ずスイッチがオフであることも確認してください。**こうした確認は不意に電動工具が作動して引き起こす事故を防止します。
- **指定の付属品、アタッチメントを使用してください。**デウォルト製工具への使用を推薦していない付属品やアタッチメントの使用は危険をともなうことがあります。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 2　15.1.27 10:54:37 AM

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

◆電気に関する安全事項

- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コードの部分を持って工具をぶら下げて持ち運んだり、コンセントから外す際にコードを引っぱったりしないでください。感電やショート等の原因となるので、コードを熱いものや油、薬品類に接触させたり、鋭利なものでキズをつけないように注意してください。万一、誤ってキズをつけた場合はその箇所に手を触れず、直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。キズついたコードは火災を引き起こす危険性があります。

◆個人的な注意事項

- **常に注意して作業を行なってください。**電動工具を使用する際、取扱方法、作業の手順、周囲の状況などに十分注意し作業に集中してください。疲労時や飲酒、薬の服用時などには決して使用しないでください。使用時の集中力の欠如は重大な事故を引き起こす原因となります。
- **作業に適した服装で作業を行なってください。**そで口の開いた服装や宝石類を身に付けないでください。電動工具の駆動部分に巻き込まれる恐れがあります。屋外で作業をする際には、滑り止めのついた履き物を着用することをお勧 めします。長髪の方は作業の邪魔にならないようにしてください。
- **調整用キー、レンチ等は、使用時以外は必ず取り外してください。**スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が全て取り外されているかどうか、常に確認する習慣をつけてください。
- **無理な姿勢で作業をしないでください。**常に足場を安定させ、バランスを保つようにしてください。無理な姿勢は、思わぬ事故を引き起こす原因となります。
- **電動工具に無理な力をかけないでください。**電動工具は、機械本来の用途や負荷状態の限度内でご使用いただくのが基本です。また、所定の速度で使用することによって、仕上がりの良い安全な作業ができます。
  決してモーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- **使用していない電動工具はお子様や初心者の方の手が届かない乾燥したところに保管してください。**電動工具はお子様や初心者の方には大変危険なものです。使用していない時は本体と充電池を別々に保管することも心がけてください。

◆工具の使用と手入れ

- **作業にあった電動工具を使用してください。**小型の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- **指定された用途以外には使用しないでください。**けがの恐れがあります。

⚠ 注意　電動工具を安全にお使いいただくために。

- **損傷部品を点検してください。**引き続き使用する前に、安全カバーやその他の部品に損傷がないか点検してください。また正しく動作するか、所定の機能が発揮されるかどうかを確認してください。可動部分の位置ずれや引っかかり、部品の破損、取り付け状態、その他に異常がないか点検してください。損傷した不良部品は、所定のサービスセンターで修理または交換してください。
- **電動工具と刃物類は、こまめに手入れをしてください。**安全で効率の良い作業をしていただくために、刃物類はよく手入れをし、シャープな状態を保ってください。電動工具は常に手入れのゆきとどいた状態で使用してください。

◆修理／メンテナンス

- **電動工具の修理は有資格技術者のみが行えます。**修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターの有資格者が行わなければなりません。
- **純正部品のみを使用してください。**十分な能力を発揮するために、修理メンテナンス、調整は、純正部品のみを使用して行なわなければなりません。

⚠ 警告　ハンマドリルに関する安全上の追加事項

- **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行なってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行なってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
- **壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
- **手を運転中の刃物に近づけないでください。**運転中は絶対に刃物にふれたり、床などの上に置かないでください。作業は工具前部分のハンド･グリップをしっかりとつかんで行ってください。手の指を刃物に近づけないように注意してください。
- **刃物類はよく切れる状態を保ってください。**切れない刃物の使用は、刃物が使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
- **木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA）が含まれるものがあります。**木材の切断作業時、銅クロムヒ酸塩をあやまって吸い込んだり、肌にふれたりしないよう、細心の注意をはらってください。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 3　15.1.27 10:54:38 AM

⚠ 警告 ハンマドリルに関する安全上の追加事項

- **コンクリートへの穴あけ作業を長時間される際は、必ず耳栓を使用してください。**コンクリートへの穴あけ作業は、大きな騒音を発生します。耳の機能障害のおそれがあります。
- **本機を使用する際、必ずサイドハンドルとともに使用してください。**サイドハンドルを使用し、両手でしっかりと本機を固定して使用してください。
- **使用直後の先端工具はけっして触らないでください。**やけどのおそれがあります。

⚠ 警告 ハンマドリルに関する安全上の追加事項

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	・・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・・	直流
⧈	・・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・・	注意
n_o	・・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○min^{-1}	・・・・・・・・・	1分毎の回転数
○○○bpm	・・・・・・・・・	1分毎の打撃数

⚠ 警告 充電池と充電器に関する安全上の事項。

◆**下記の注意事項を全てお読みください。**

- **充電器の定格電圧が電源と一致していることを確認してください。**充電器の電圧は定格板に記載されています。
- **充電器は屋内のみで使用してください。**また、充電器を濡れた場所や、ちらかった場所では使用しないでください。特に水まわりの近くでの使用や、水の中に浸けたりしないでください。
- **充電器のコードやプラグ部分に損傷がある場合、**使用せず新しいものと交換してください。
  ※交換作業は、製造者もしくはその代理店又は同等の有資格者が行います。
- **充電器が衝撃、落下、その他何らかの原因で損傷した場合には使用せず、**所定のサービスセンターにお持ち込みください。
- **2個の充電器どうしをけっして一緒に接続しないでください。**
- **導電体の物を充電器の充電端子に接触させないよう十分注意してください。**充電器の充電端子には高電圧がかかっており、感電および感電死の恐れがあります。

⚠ 警告 充電池と充電器に関する安全上の事項。

- **充電池の表面にひび割れや損傷がみられる場合は、絶対に使用しないでください。**充電器に破損した充電池を差し込むと、感電および感電死の恐れがあります。
- **電源コードを乱暴に扱わないでください。**コンセントから電源プラグをはずすときは、コードを引っ張らないでください。電源コードの位置に気をくばってください。コードを踏みつけたり、つまずいたりすると危険ですし、コードをキズつけることになります。
- **充電器の上にものを絶対に置かないでください。柔らかいもの（例：綿、スポンジ等の材質）の上に充電器を置かないでください。**充電器の上部と底部に通気するための穴が切ってあります。穴をふさぐと、熱が充電器内にこもり、大変危険です。充電器は熱のあるところをさけてご使用ください。
- **充電器を分解する試みは絶対にしないでください。**修理／メンテナンスは、所定のサービス・センターに依頼してください。発火したり、異常動作してケガをする恐れがあります。
- **充電器を掃除する際、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。**これは感電を防止するために必要な事項です。充電池を充電器から抜くだけでは、感電の防止にはなりません。
- **充電池を開ける試みは絶対にしないでください。**充電池本体にひびや傷へこみを発見した場合、再充電することなくすぐにご使用をおやめください。
- **周囲温度が4℃以上、及び30℃以下の環境下で充電池の充電を行ってください。また、温度が30度を超える場所に保管しないでください。**これは充電池に重大な損傷をあたえるのを防止するために必要な事項です。
- **充電池がひどく損傷していたり完全に消耗していても、焼却しないでください。**充電池が火の中で爆発する恐れがあります。過度な使用や極端な温度状況のもとでは、わずかな量の液もれが充電池から発生することがあります。もし外部シールが破れて漏れ出した液体が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い流し、最寄りの医療機関にご相談ください。
- **充電池の端子間を絶対にショートさせないでください。**ネジ、刃物、くぎなどの金属が充電池の充電用金属端子に接触してショートすることのないように注意してください。
- **充電池の充電は専用の充電器のみで行なってください。**誤った使用法は感電を引き起こしたり、充電池を加熱させたり、液漏れなどを引き起こす原因となります。取扱説明書に記載してある充電器でのみ、充電池を充電してください。
- **専用の充電池でのみ本製品をご利用ください。**他社製の充電池での本製品のご使用は、火災を引き起こす危険性があります。取扱説明書に記載している充電池でのみ、本製品をご使用ください。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 4 15.1.27 10:54:38 AM

⚠ 警告 充電池と充電器に関する安全上の事項。

- 充電中でないときは、プラグをコンセントから必ずはずしておいてください。
- 延長コードにつないで使用しないでください。
- 「充電上の注意事項」を必ずよくお読みください。

充電の手順

◆充電のしかた

(1) 充電器の定格板に表示してある電源と、コンセントの電源が一致していることを確認してください。家庭用電源のコンセントに充電器の電源プラグを差込んでください。

(2) 充電池を充電器の差込み口に差込んでください。充電池がしっかりと差込み口にはまっているか確認してください。充電器が充電を始めると、赤い点滅灯が点滅しはじめます。これは、「充電中」を意味します。

(3) 充電が完了すると、点滅灯が光ったままになります。これは「充電完了」を意味します。充電終了後、充電器に充電池を放置したままにしても問題はありません。

ー ー ー ー ー	充電中
———	充電完了
ー・ー・ー・	バッテリー温度異常
・・・・・・・・・・	バッテリー不良

◆充電がうまく行われないときは

(1) 電源コンセントに電灯などの他の電気器具を接続して、確かに電流が来ているかを調べる。

(2) 電源コンセントが、壁の電源スイッチと連動しているか確認する。

(3) 周囲温度が＋4℃以上、および＋30℃以下の環境下で充電を行なったか確かめる。

(4) それでも充電されないときには、お買い上げの販売店にお買い上げ時のレシートなどと一緒にご持参のうえご相談ください。

⚠充電上の注意事項

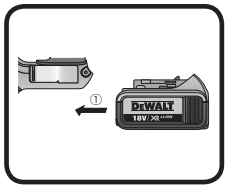
- 充電中、充電器と充電池は触れると暖かく感じるようになります。これは正常な状態であって、問題はありません。
- 充電池を充電していないとき、充電器のプラグは電源コンセントからはずしておいてください。スチール・ウール（鉄綿）、アルミホイル、その他の金属切り粉等により、充電器の充電端子が短絡する危険性があります。また、これらの材質からはなれた場所で充電器を使用することを心がけてください。充電器のプラグは電源コンセントからはずした状態で、これら異物を取り払ってください。
- どんな液体も充電器内に入らないように気をつけてください。感電を引き起こす可能性があります。充電池の冷却を容易にするため、ご使用の後、充電器と充電池は高温になる場所で保管しないでください。
- 充電器は、お客様がご自身で修理することはできません。ご自身で充電器を開けられると静電気が発生し内部部品が故障する可能性があります。かならず所定のサービスセンターの有資格者に修理／メンテナンスを依頼してください。

製品の特色と使用方法

⚠デウォルト製充電池は充電されていない状態で出荷されます。最初にご使用のときは、ご使用前に必ず充電を十分にしてください。

⚠ 警告 充電池を本機に取り付ける前に、必ずスイッチが切れている状態で正転／逆転／ロックスイッチが中央の位置にセットされていることを確認してください。

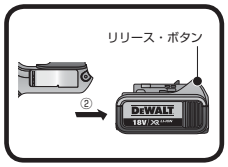
◆電池の取り付け方／取りはずし方



充電池を本機に取り付けるとき、充電池の向きが工具ハンドル部分下にある挿入口と合っていることを確認し、「カチン」としっかりはまるまで電池を矢印（①）の方向に差し込んでください。

⚠充電池が十分充電されていることを確認してから本品をお使いください。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 5 15.1.27 10:54:39 AM



充電池を工具から取り外すとき、充電池の前面にあるリリース・ボタンを押したまま、充電池を矢印（②）の方向に引きますと工具から外れます。

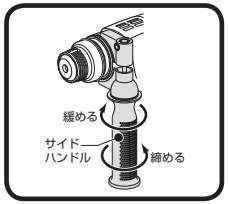
⚠充電池を充電する際、「充電の手順」の項に従って充電してください。

◆再充電

いつものような仕事をさせたときに工具が力強く作動しない場合は絶対に使用せず、再充電してください。以前に少しだけ使用した充電池も、ご使用の前に再充電することを心がけてください。

◆サイドハンドル

⚠警告 本機を使用する際、必ずサイドハンドルを使用してください。サイドハンドルを使用し、両手でしっかりと本機を固定して使用してください。

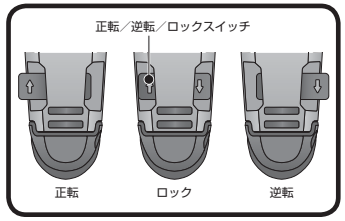


本機に備え付けのサイドハンドルは、360度自由な角度に取り付けることが可能です。作業に一番合う位置に角度を調節してご使用ください。

◆無段変速トリガー（引き金）スイッチ

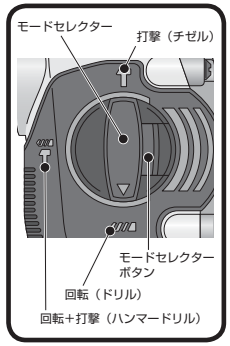
トリガー（引き金）スイッチを引くと作動します。またトリガー(引き金)スイッチを放せば止まります。トリガースイッチには無段変速機能が組み込まれていますので、深く引くと高速、浅く引くと低速というように速度を調節できます。作業の内容によってトリガーの引き具合で速度を調節できるので大変便利です。

◆正転／逆転／ロックスイッチ



左図を参照に正転／ロック／逆転の設定を行います。使用しないときは、ロックをかけた状態にしておいてください。
左図は本体を上から見た図になります。

◆モードセレクター



用途に合わせて、打撃（チゼル）、打撃＋回転（ハンマードリル）、回転（ドリル）と3つのモードを選択できます。モード選択をする際はモードセレクターボタンを押しながら、モードセレクターを回してください。
木工・鉄工の穴あけ作業には の位置にモードセレクターの△をあわせてください。木工や鉄鋼用のドリルビットを使用する際は、市販のSDSドリルチャックアダプターが必要です。コンクリートへの穴あけ作業には の位置にモードセレクターの△をセットしてください。チゼル作業を行うには の位置にモードセレクターの△を合わせます。

⚠モードセレクターの注意事項

モードを選択する際は必ずモードセレクターの△を用途のマークの位置に合わせてください。用途のマークの位置に正しく合わせず使用すると故障の原因となります。固くてモードセレクターを正しい位置に合わせられない場合は、変更前のモードに戻し、一度使用してから再度試してください。

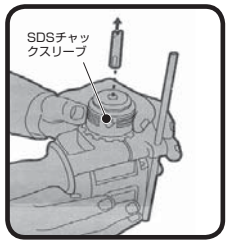
◆低振動システム機能（Active Vibration Control）

本機は、低振動システム機能がついています。ハンマーモードを使用したときに、手に伝わる振動が小さくなっています。またこの機能により、振動による本機へのダメージを最小限に抑えています。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 6 15.1.27 10:54:41 AM

◆SDSチャック

⚠ 警告 SDSプラスビットをSDSチャックに取り付ける前に、必ずトリガースイッチが切れている状態で正転／逆転／ロックスイッチが中央のロック位置にセットされていることを確認してください。



ビットの取りつけ方：SDSプラス軸のビットの根元に、グリスを適量つけてください。SDSプラス軸のビットをＳＤＳチャックの穴に差し込んでください。SDSプラス軸のビットに彫ってある溝がチャック内の溝に入り、「カチン」と音がします。

ビットの取り外し方：SDSチャックスリーブを下に引き、ビットを取り外してください。

◆木工・鉄工穴あけ

木工・鉄工の穴あけ作業には、▭の位置にハンマモード／ドリルモード切換えスイッチをセットしてください。本作業にはSDSドリルチャックアダプターが必要です。ドリルの軸径に合わせて、10mmもしくは13mmのSDSドリルチャックアダプターをご用意ください。

(1) 本機をしっかりと両手で固定して穴あけ作業を行なってください。

(2) 穴あけ作業中、作業物に対して真っ直ぐに力をかけてください。無理な力を作業物に加えないでください。そうすることで作業効率を悪くし、モーターやドリルビットを早く消耗させることにつながります。

(3) 穴あけ作業中、負荷がかかりすぎ本機のモーターが回転しなくなることがあります。この場合直ちにトリガースイッチを切り、ドリルビットを作業物から抜いてください。そのまま作業を継続しますと本機の故障の原因となります。

(4) 穴あけ終了後、作業物からドリルビットを逆転させて抜くときには、本機を両手でしっかりと固定し、トリガースイッチを引いたままモーターが回転した状態で行なってください。

(5) 本機トリガースイッチには無段変速機能がそなわっています。穴あけ作業を開始する際ドリルビットの先端を作業目標にあてがい、トリガースイッチを少し引き低速の状態で作業を開始してください。
穴が深くなるにつれトリガースイッチを深く引き、回転速度をあげてください。

⚠鉄工穴あけを行なう際、鉄工用のドリルビットをお買い求めください。鉄工穴あけ作業の際、潤滑油をご使用ください（鋳鉄や真ちゅうに穴あけ作業を行なう際は、潤滑油を使用しないでください）

◆コンクリートへの穴あけ

コンクリートへの穴あけ作業には、🔨の位置にハンマモード／ドリルモード切換えスイッチをセットしてください。

⚠コンクリートへの穴あけ作業には、コンクリート専用のSDSプラス軸のビットをご使用ください。

(1) コンクリートへの穴あけ作業を行なうとき、無理な力を作業物に加えないでください。そうすることで作業効率を悪くし、ドリルビットを早く消耗させることにつながります。

(2) 作業物に対して直角に穴あけ作業を行なってください。ドリルビットに横からの圧力が加わると作業効率が低下し、穴の中でドリルビットが詰まり取れなくなることがあります。

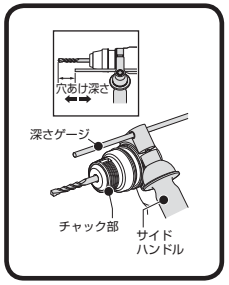
(3) 深い穴あけ作業の途中にハンマの回転数が低下してきた場合、粉じんが穴の中で詰まっている場合があります。ドリルビットを穴から少し出すことで、中に詰まった粉じんを取り除いてください。ハンマの回転が完全に止まってしまった場合は、ただちにトリガースイッチを切って作業を中断し、穴からドリルビットを抜いてください。

(4) ドリルビットを穴から出す際は、ドリルビットを回転させたまま取り出してください。

(5) 作業中の穴の中に水を注がないでください。穴の中でドリルビットが詰まり取れなくなる結果となります。

(6) 薄い作業物に穴あけ作業を行なう場合、作業物に木板を添えて作業を行なうことにより折れたり亀裂が入ったりすることを防ぎます。

◆深さゲージ



深さゲージを使用することによって、穴あけの深さ調整ができます。

(1) ドリルビットが取りついていることを確認してください。

(2) サイドハンドルを緩め、深さゲージをサイドハンドルの穴に差し込みます。

(3) 図のように、深さゲージを穴あけ深さに合わせて調整します。このとき、ドリルと深さゲージの間隔が穴あけ深さになります。

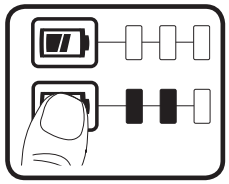
(4) サイドハンドルを締め、深さゲージをセットします。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 7 15.1.27 10:54:42 AM

◆LEDライト

無段変速トリガースイッチを引くと、LEDライトが点灯します。ライトはスイッチを離した後もおよそ20秒ほど点灯を続けます。

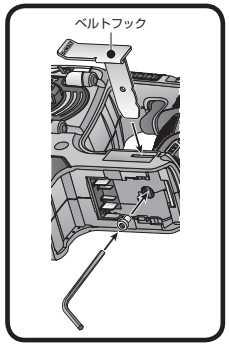
◆バッテリー残量ゲージ



DCB182：18V4.0Ahリチウム充電池にはバッテリー残量ゲージが着いています。バッテリーマークのボタンを押すことにより、バッテリー残量を3段階に表示します。

⚠バッテリーの残量表示は電池の温度など、環境によって変化します。電池残量の目安としてご利用ください。

◆ベルトフックの取り付け取り外し



必要に応じてベルトフックは取り外すことができます。取り外すには、工具ハンドル部下にあるネジを3mmの六角レンチで反時計回りに回して外してください。その後、本体の側面からベルトフックを引き抜いてください。
取り付ける際は、逆の手順で行ってください。

メンテナンス

製品の掃除には、から拭き、水またはぬるま湯でうすめた中性洗剤を湿らせた布で表面を拭いてください。テレピン油、ペイント用シンナー等の薬品は使用しないでください。製品内部に液体の入らないように、また製品本体を液体に浸けないように十分注意してください。

⚠ 注意　本機のメンテナンスをする際は、必ず充電池を抜いて行ってください。

アフターサービスについて

本機の修理、メンテナンス、調整は所定のサービスセンターにて有資格者が純正部品を使用して行わなければなりません。かならずお買い上げの販売店または当社認定サービスセンターまでご相談ください。修理の知識や技術のない方が修理を行ないますと、事故やケガの恐れがあります。

♻ 充電池と環境

Li-ion
リチウムイオン電池はリサイクルへ

デウォルト製コードレス電動工具に使用している充電池はリサイクル可能な貴重な資源です。充電池や製品の廃棄の際には、下記の手順に従いリサイクルにご協力ください。

(1) 充電池の寿命がなくなるまで使いきってから充電池を交換してください（充電池には寿命があります）。

(2) お買い求めの販売店または所定のサービスセンターにお持ちください。

アクセサリー

本製品用の付属品は各販売店もしくは所定のサービスセンターにて販売しております。また付属品やアタッチメントについてのお問い合わせは、販売店または所定のサービスセンターまでご連絡ください。（供給していない付属品もございます。あらかじめご了承ください。）

⚠当社の認定しない付属品やアタッチメントのご使用は、事故やケガの原因になる恐れがあります。ご使用にならないでください。

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 8　15.1.27 10:54:43 AM

MEMO

MEMO

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 9 15.1.27 10:54:43 AM

MEMO

MEMO

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 10 15.1.27 10:54:43 AM

製品保証書

＜保証規定＞

保証期間：お買い上げ日より 1 年間

1）取扱説明書や製品ラベルに記載されている注意書きに従った使用状況で、本製品が万が一故障した場合には、無償修理または新品と交換いたします。
無償修理・交換をご依頼になる場合は、以下のものを、お買い上げの販売店までご持参、またはデウォルトまでご相談ください。

・製品
・必要事項を記入した本書
・レシート（領収書）またはそのコピー

お買い上げの販売店、またはデウォルトまでご持参、またはご送付いただいた場合の諸費用は、お客様の負担となります。

2）次の場合は、本保証書規定の対象外となり、有料の修理・交換とさせていただきます。

◆本書、及びお買い上げを証明するレシート（領収書）またはそのコピーの提示がない場合
◆オークションや中古品等の個人間売買によりお買い上げした場合
◆移動、落下などによる故障および損傷
◆使用上の誤りや注意書きを無視した使用による故障及び損傷
◆不当な修理や改造による故障及び損傷
◆火災・地震などの天災。騒乱などの人災、公害や異常電圧などの環境による故障および損傷
◆海外など、ご利用電源が 100V（50 ／ 60Hz）でない環境でのご使用による故障および損傷
◆保証期間経過後のご依頼

3）本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4）本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
5）本規定は、以上の保証規定により修理・交換をお約束するためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ 充電池、電源、ビット、ノコ刃、サンドペーパー、掃除機フィルター、チェーン刃等の消耗品は保証の対象外です。

＜アフターサービスについて＞

アフターサービスに関する事項は、「アフターサービスについて」をご参照ください。
保証期間経過後の修理等については、デウォルトまでお問合せください。

＜個人情報のお取り扱いについて＞

弊社は、お客様よりお知らせいただいたお客様の住所、氏名、電話番号などの個人を識別、もしくは特定することのできる固有の情報（以下「個人情報」）を、本サービス提供目的のため、弊社ならびに弊社指定の宅配業者に提供します。お客様は、あらかじめこれに同意するものとします。また個人情報は、新製品情報、イベントのご案内、弊社製品サービスの品質向上のためにも利用させていただきます。

デウォルト　製品保証書

本書は、裏面に記載された保証規定により無償で修理・交換をお約束するものです。詳細は裏面の保証規定をご参照ください。

お客様記入欄		
フリガナ		製品名
お名前		**18V SDS ブラシレスハンマードリル／ 18V SDS ブラシレスハンマードリル（本体のみ）**
TEL	（　　）	型番
ご住所	（〒　　） 都道 府県	**DCH273M2 ／ DCH273N**
		お買い上げ日
		西暦 □□□□ 年 □□ 月 □□ 日

ポップリベット・ファスナー株式会社　デウォルト事業部
〒171-0022　東京都豊島区南池袋 1-11-22　山種池袋ビル 4F
TEL：03（5979）5777　FAX：03（5979）5788

N427180　　01/2015

P1-P12_DCH273M2_CS3.indd 12　　15.1.27 10:54:44 AM